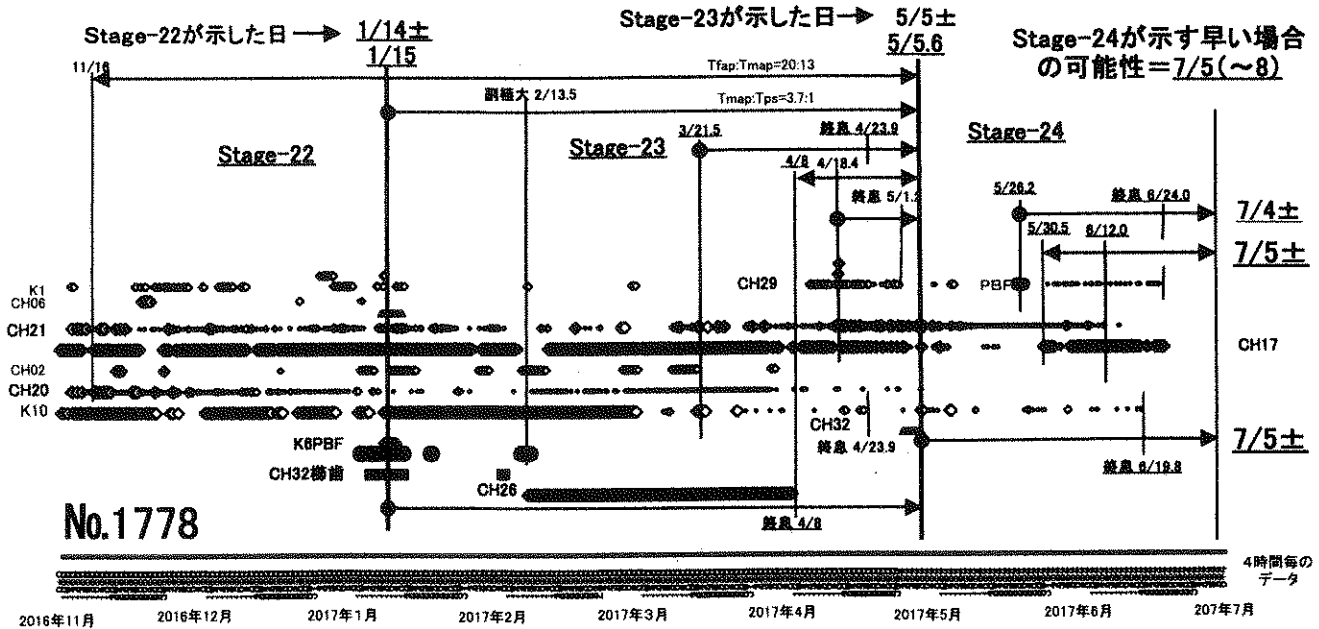


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆現況報告 CH17特異のみ継続 Stage-24再検討
若干修正:7/1迄に完全静穏化した場合⇒7/5(～8)発生の可能性



表題のとおり、長期継続特殊前兆No.1778は現在第24ステージで、CH17の特異前兆のみが継続出現しています。但しCH17も完全系状態ではなく、若干の変化がある基線となり、6/21～22には19時間も正常基線を記録するなど、顕著状態からは脱している様に見えます。

CH21及びCH29、K10等の前兆は既に終息しており、第24ステージを見直し検討した結果、上図中に書き込んだ様な前兆関係が見えます。この認識が仮に正しい場合は、7/5±の可能性が示唆されることとなります。これが正しい場合は、下枠内に記したとおり、今月末前後にCH17特異も終息する可能性が計算されます。

CH21に若干の変化が見えますが、6/9等にもCH21に小ピークがあるため、そのためか、直前特異が出現する等の可能性もあります。いずれにしても今後の前兆変化を注視、現在の認識が正しいか否か判断し、続報で報告させて頂きます。

◆推定領域: 下図 点線領域内=大枠推定領域
太線領域内=可能性が考えやすい推定領域
※ある程度火山に近い領域の可能性示唆される
(影響局誤認の場合は東北福島中心領域の可能性も出るが
辻褄が合わない前兆が有、下図領域の可能性が考え易い)

◆推定規模: M7.8 ± 0.5 (震源浅い日本列島の地殻地震)

◆推定時期: 前兆完全終息を確認後計算予定
現状考え易い推定:7/1迄に終息した場合=左枠内(7/5(5~8))

◇8T変化からの参考推定 推定発生時刻: 午前9時±1
(又は午後6時±3)

【6/12.0極大認識に対する各前兆終息】	
6/28.6終息の場合⇒	7/4 発生の可能性
6/29.3終息の場合⇒	7/5 発生の可能性
6/30.1終息の場合⇒	7/6 発生の可能性
6/30.8終息の場合⇒	7/7 発生の可能性
7/01.6終息の場合⇒	7/8 発生の可能性

